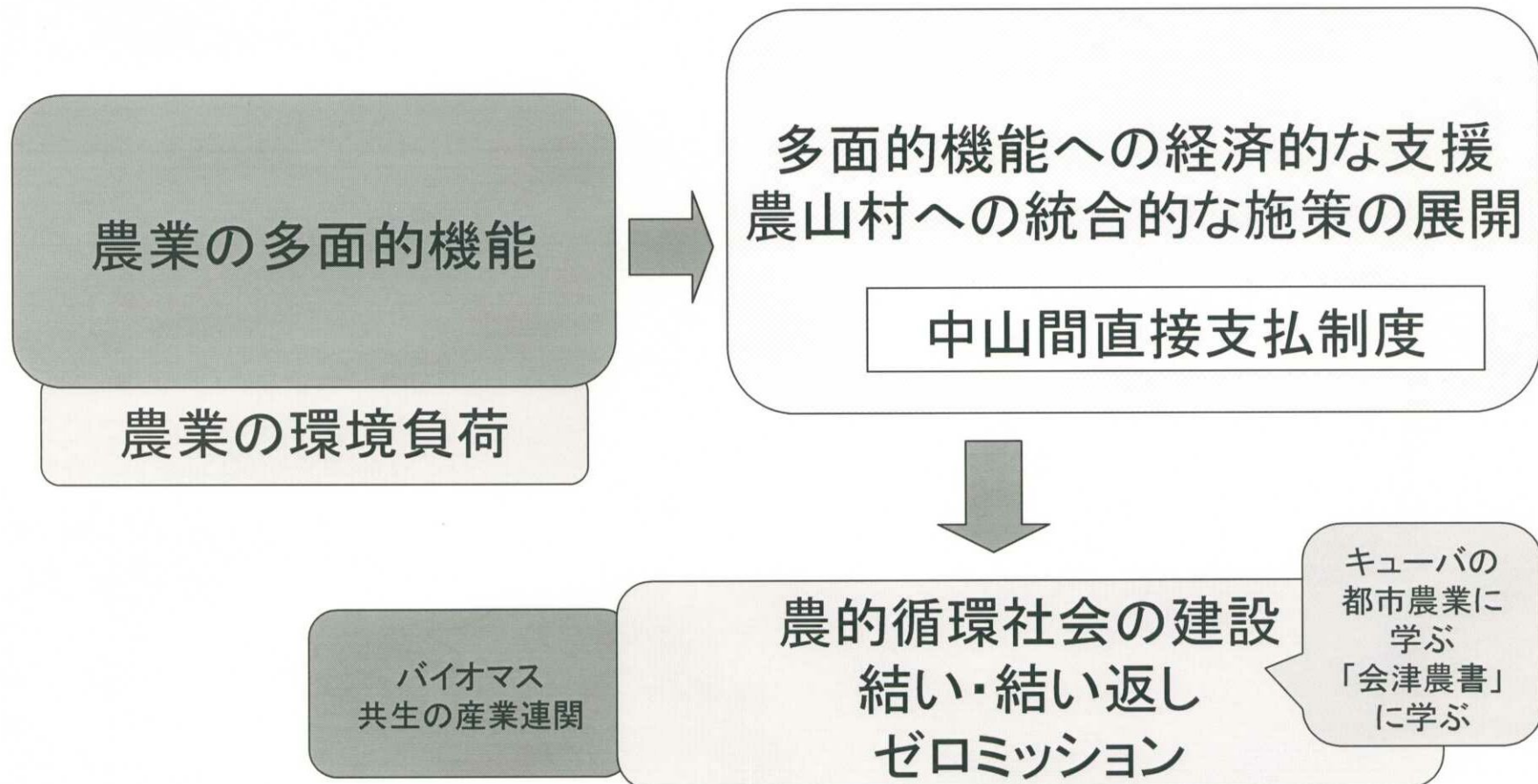


産業廃棄物行政と経済的手法のあり方検討会資料
JA福島中央会 中島(10/27)



「福島県の農業・農村や森林の有する多面的機能の評価」

福島県の農業粗生産額
2677億円(13年度)

機能	評価額(億円)
洪水防止機能	1,754
水資源かん養機能	541
土壌侵食防止機能	10
大気浄化機能	3
保健休養やすらぎ機能	552
合計	2,860

食料・農業・農村問題についての
県民合意形成

食と農フォーラムの開催

食と生命を守る県民運動

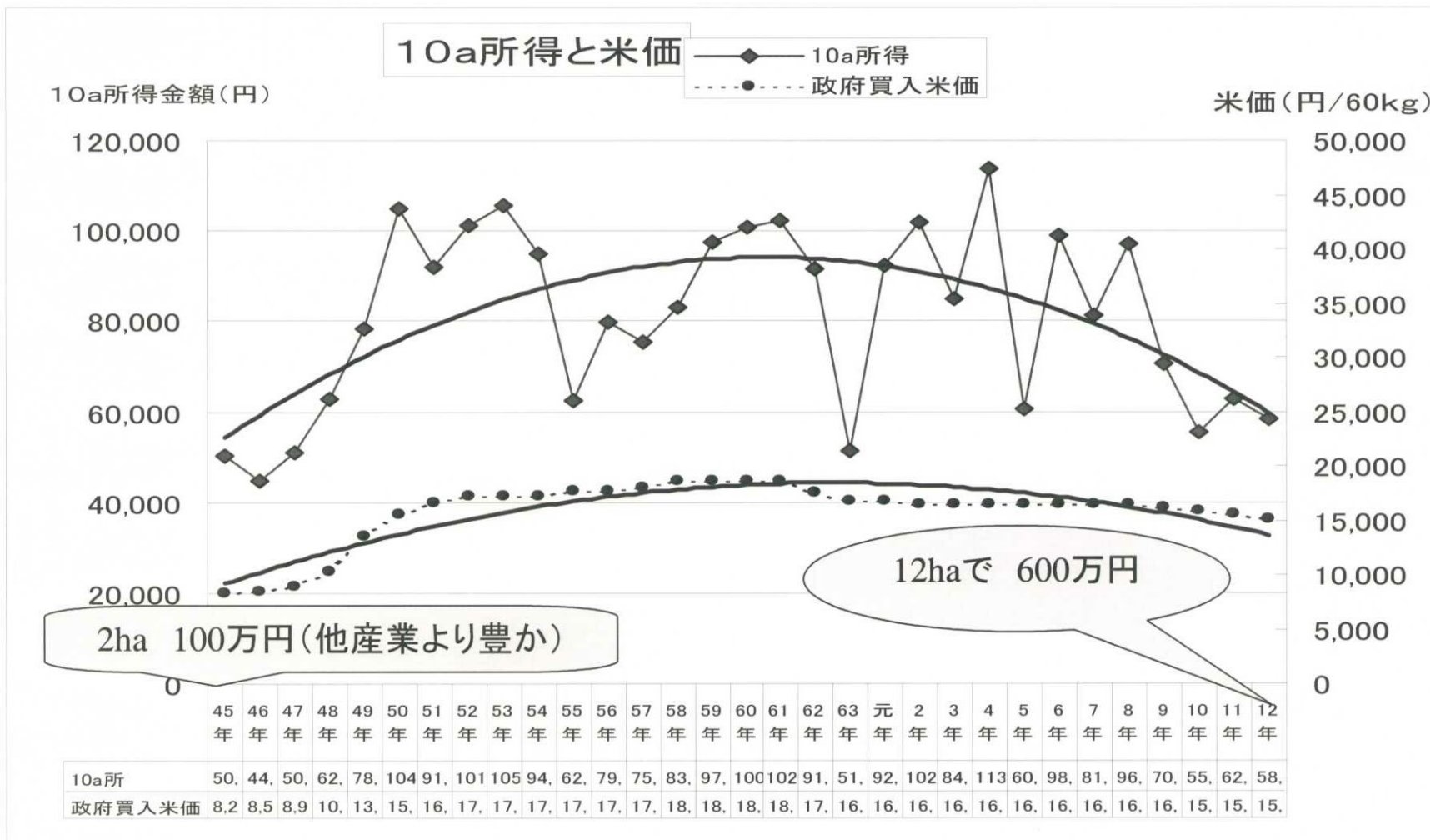
消費者に信頼される農産物供給
食農教育の展開

農青連「たんぼで遊ぼう」シリーズ
農業小学校

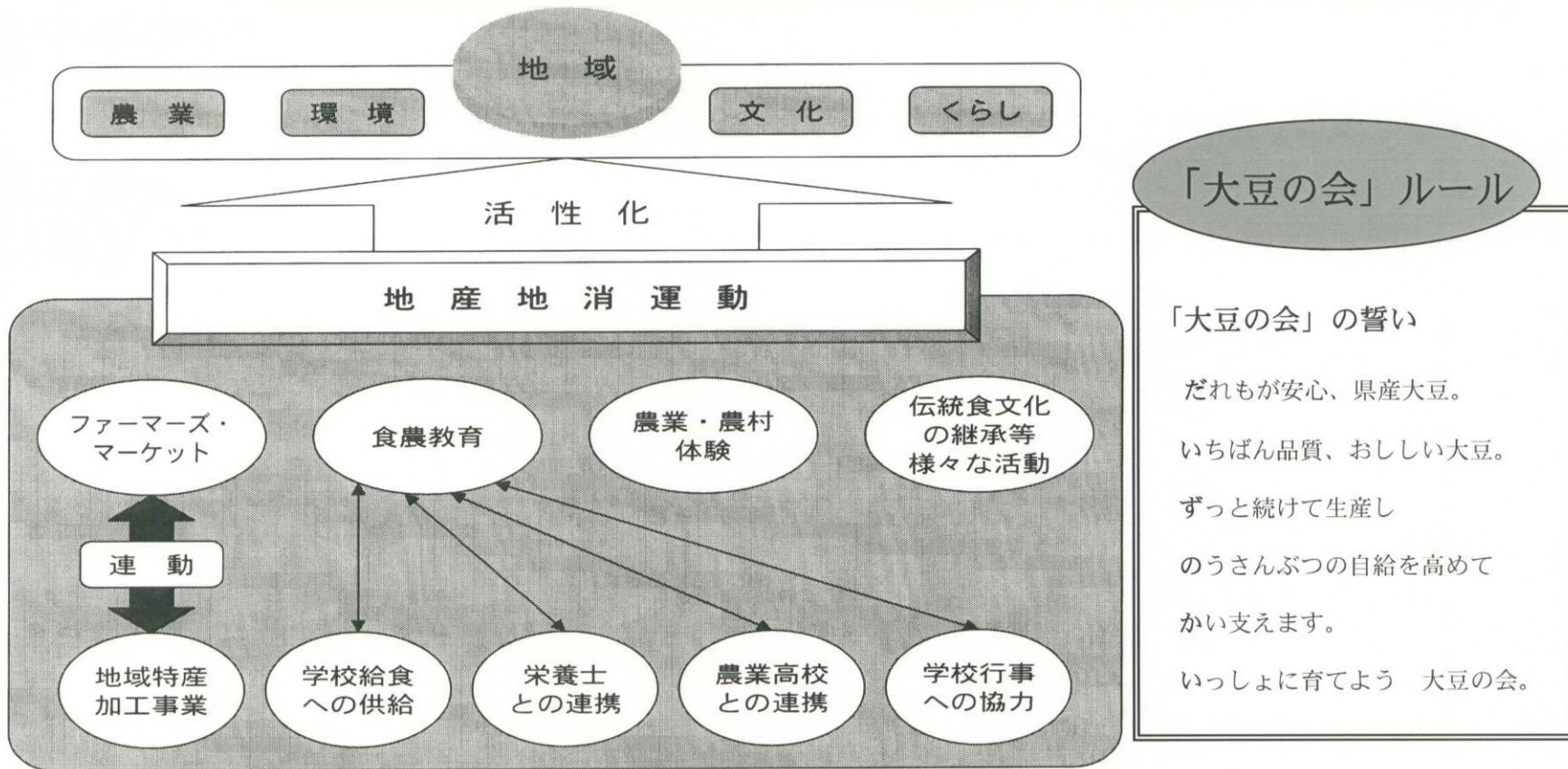
たんぼのフォトコンテスト

10a米所得は、30年前の水準・物財費を下回る

⇒販売戦略による価格対策と需給対策・コスト削減対策



地産地消運動の全体像 ～身土不二・農都不二～

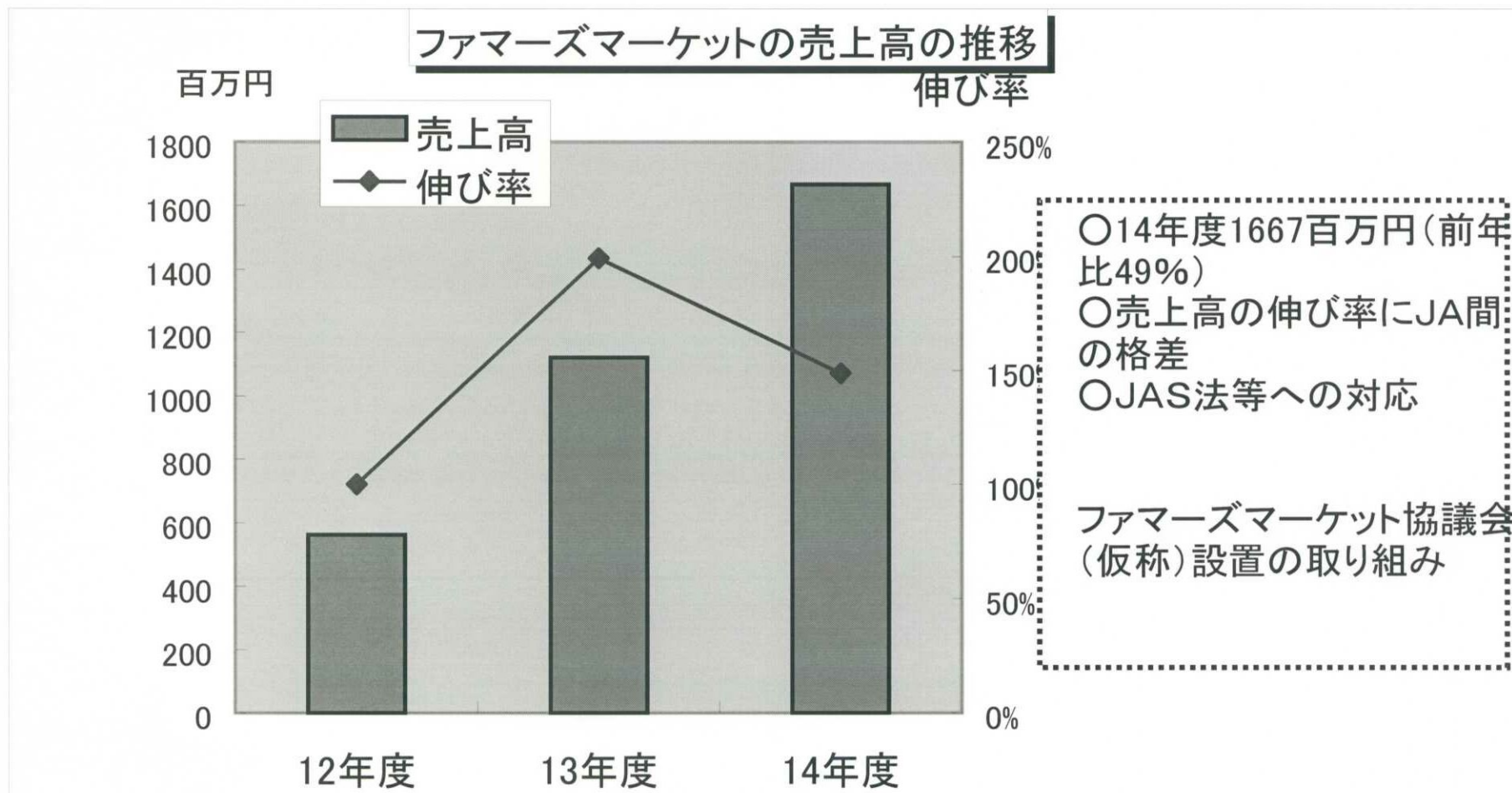


「大豆の会」ルール

「大豆の会」の誓い

だれもが安心、県産大豆。
いちばん品質、おいしい大豆。
ずっと続けて生産し
のうさんぶつの自給を高めて
かい支えます。
いっしょに育てよう 大豆の会。

ファーマーズ・マーケット売上高の推移



総合的学習の時間に対するJAの支援

(学校教育支援事業)

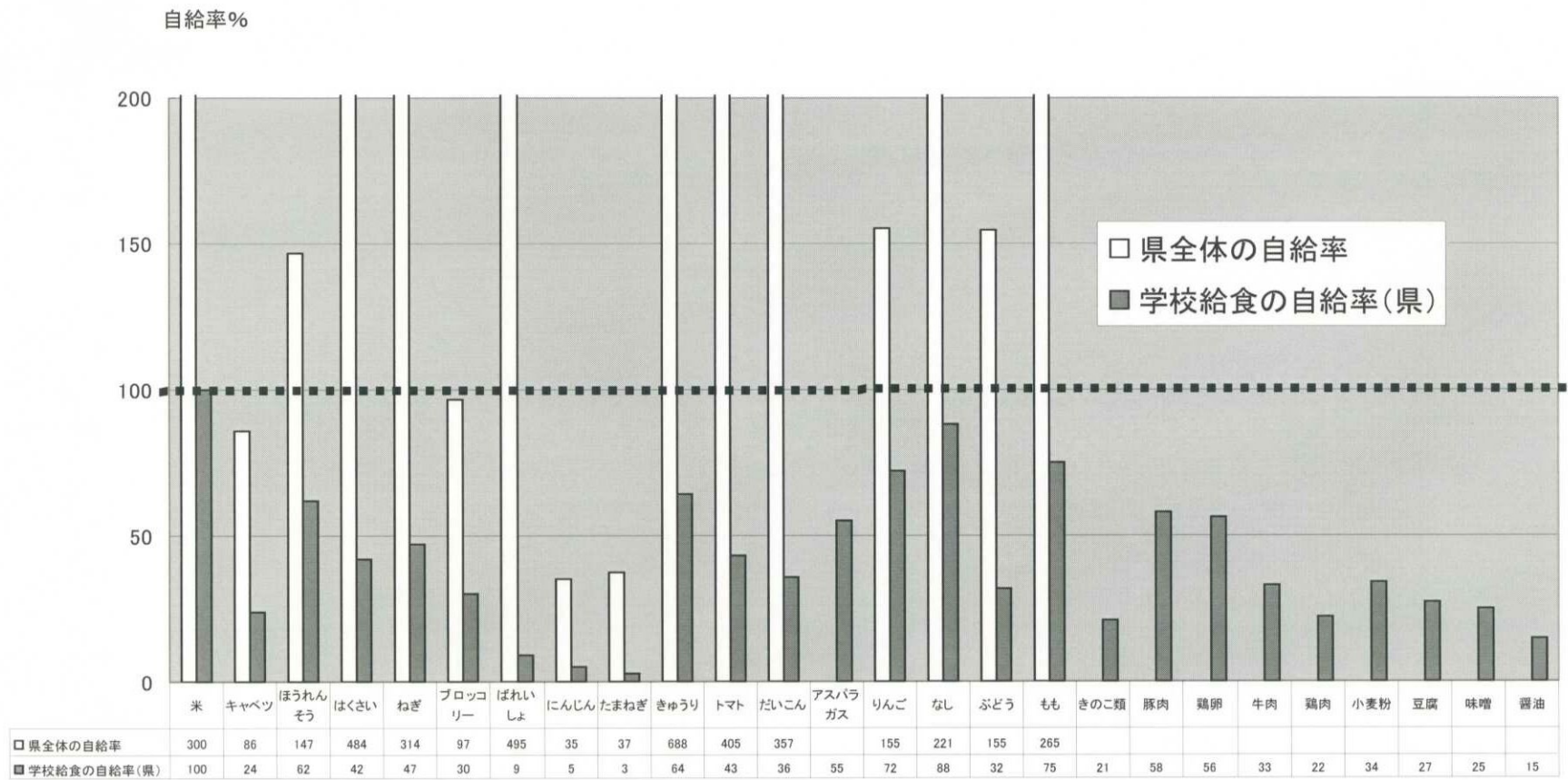
JA新ふくしまは
子供たちの未来を
応援します!!

基本コース			実施場所
田んぼの学校	お米コース	① 農家の協力得た田んぼは「小学校の学校田」として稲の生育を追います。 ② 田植えや田の草取り、稲刈りなどの農業体験と生育中の観察を行います。 ③ 稲の周りに混在する虫たち、草花、水や空気、そして土が生育にどのように影響しているかを体で感じ、いろいろなことを学びとってもらいます。 ※ 基本的に通常の水、土壌の管理は協力農家が行います。	小学校 近隣農家の 田んぼ
	りんごコース ももコース なしコース 野菜づくりコース	① 農家の協力を得た畑を「小学校の学校農園」として果物や野菜の生育を追います。 ② 花粉交配などの農業体験と生育中の観察を行います。 ③ 太陽と温度、水や空気、そして時には発生する自然災害が生育にどのように影響しているのかを見て感じ、いろいろなことを学びとってもらいます。	小学校 近隣農家の 畑

JA学校教育支援授業
実施コース
(基本コース&オプションコース)

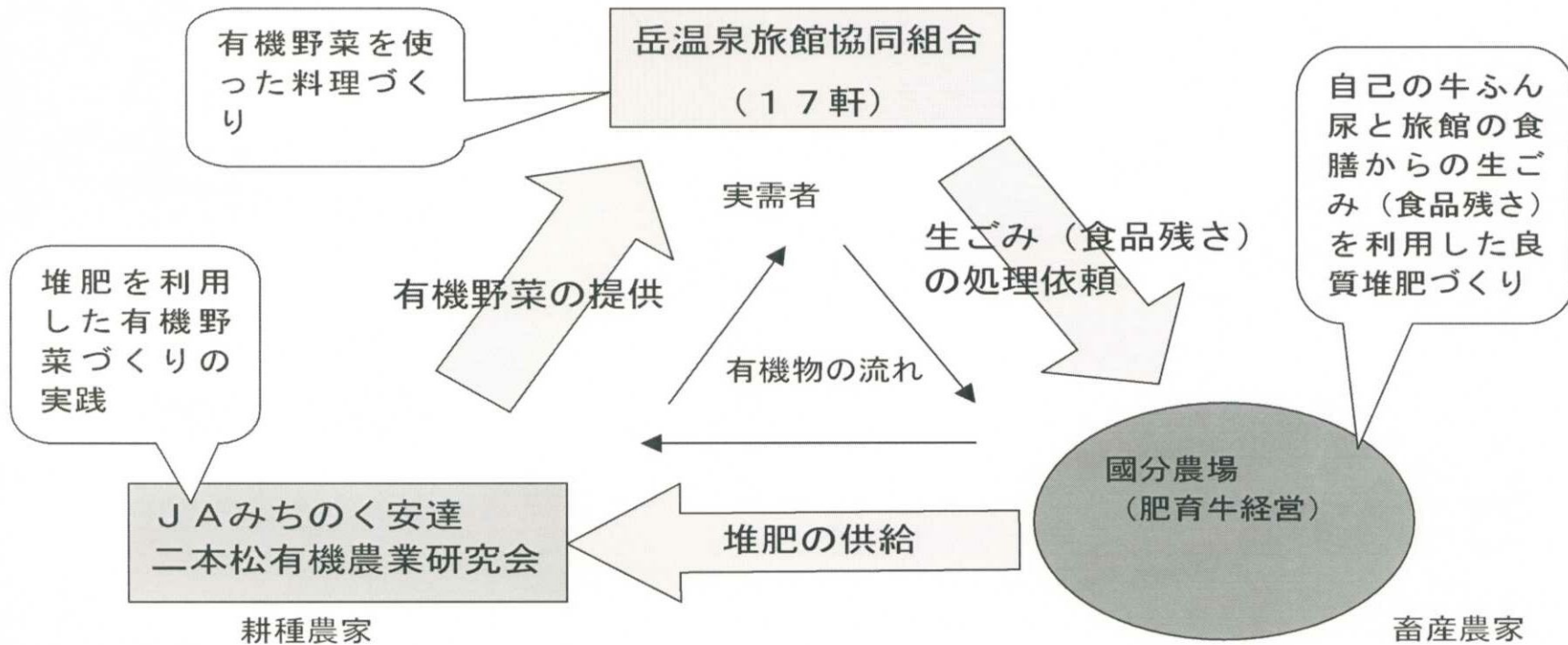
オプションコース		実施場所
そば打ち体験	福島市内産のそば粉100%を使い、そば打ちを体験できます。そばの花も見事で、お花見兼写生会もできます。	各学校の 教室
手作りジャム体験	福島市内産の果物を使って、手作りジャムを作ります。(いちご・もも・ぶどう・りんごなど季節の果物)	
手作り豆腐体験	福島市内産の大豆を使って、手作り豆腐を作ります。	
福祉ボランティア体験	JA新ふくしまで建設した福祉施設アグリホームでのボランティア体験ができます。	野田地区 にある 施設内

学校給食の自給率



耕畜連携による資源循環型農業の事例

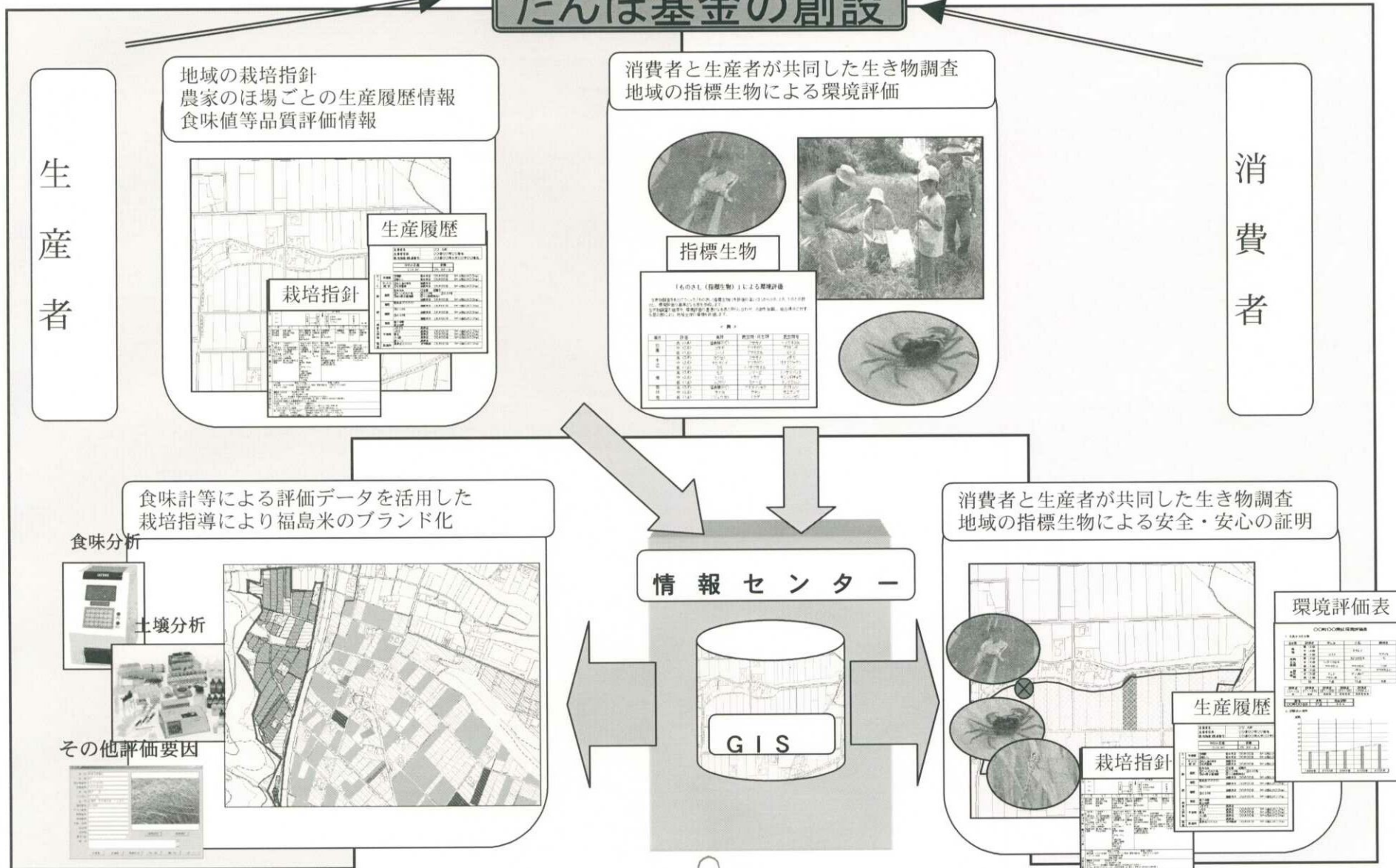
有機物の循環システム（大玉村・國分農場を中心とした循環システム）



GIS活用によるトレサビリティシステム

生き物調査により得られる環境評価データを活用した安全・安心の証明

たんぼ基金の創設

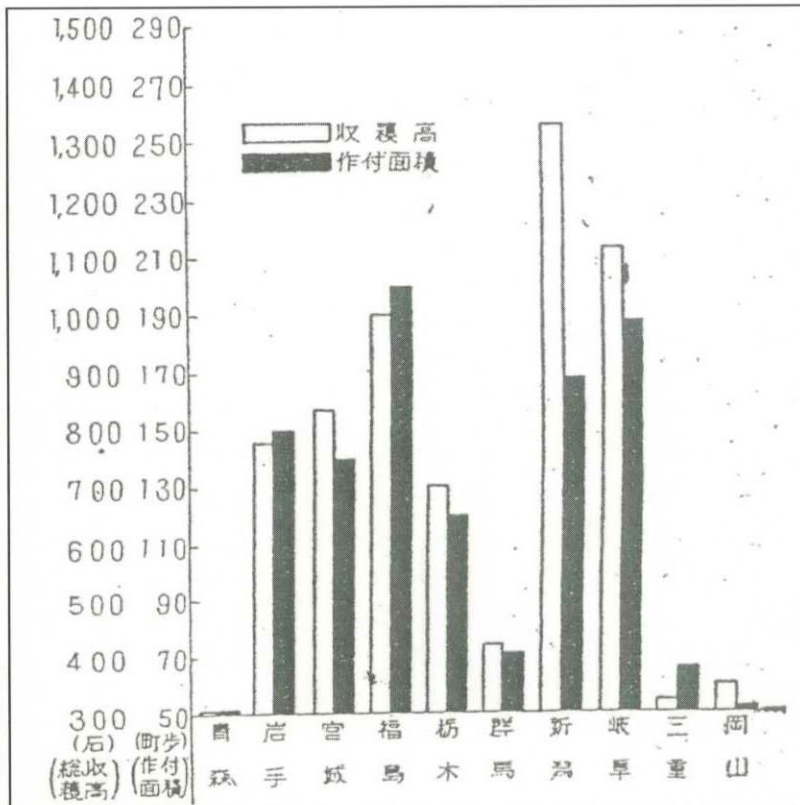


雑穀を見直そう! 船引町での取り組み—エゴマで長寿の町づくり

遊休農地に10a当たり1万円の補助金—50万円・「町内の在宅寝たきり約100人の4割は、脳血管障害
→エゴマで発症者の減少が医療費・介護保険料の削減」

雑穀の粗収益(岩手県 平成10年度)

ヒエ—124,200円、アワ—135,000円、キビ—196,200円、モロコシ—194,000円、米—144,454円



産業廃棄物の不法投棄を監視 J Aと協定結ぶ／宮城県 [2003年09月23日付]

宮城県は二十二日、産業廃棄物の不法投棄を早期に発見し事前に防止させようと、J A宮城中央会など四団体と不法投棄の情報提供に関する協定を結んだ。J Aなどと本格的に官民連携した監視体制を敷くのは、全国でも初めて。

協定を結んだのは同中央会をはじめ、東北電力宮城支店、宮城県森林組合連合会、宮城県漁業協同組合連合会。

主な協定内容は、不法投棄を発見した時の通報手続きマニュアル、監視協力車両を示すシールの配布などを行う。J Aなどの協定先は、不法投棄発見に関する通報のほか、職員へ不法投棄防止の趣旨を徹底させるとしている。

日本農業新聞

農業・農村の 多面的機能

農業は食料を作るだけでなく、日本の国土や環境を守り、地域の祭りや郷土料理などの文化を生み出してきました。目には見えないこのようなかくれた働きを、「農業の多面的機能」といいます。

たとえば水田は水や空気をきれいにし、水をたくわえて自然のダムのように働きをし、土砂くずれなどを防いでいます。また、美しい景観を作ってそれを維持し、鳥や昆虫などの生き物のすみかともなって、環境や生態系を守っているのです。

畑や果樹園の美しい風景は人々に安らぎをもたらす、観光農園での収穫体験などは、楽しみや新鮮な感動をあたえてくれます。

これらの機能をお金に直して計算すると、年間で約8兆2,200億円にもなるのです。

農業や農村はわたしたちのくらしや環境を守る、なくてはならない存在。多くの人が残していきたいと思っています。

年間で
約8兆2,200億円

土砂くずれを防ぐ
4,782億円

水資源を守る
1兆5,170億円

土が流れ出すのを防ぐ
3,318億円

夏の暑さをやわらげる
87億円

洪水を防ぐ
3兆4,988億円

ハイキングや旅行などの
安らぎをあたえる
2兆3,758億円

生ゴミなどを
肥料にもどす
123億円

ごはんをたべよう!!

ごはんにはたくさんの栄養が詰まっている

ごはんの栄養成分で一番多いのは炭水化物で、これは体を動かすエネルギーのもと。お茶わん1ばい分(約150g)のごはんには、数えると約2,400のごはん粒、252kcalのエネルギーがあります。また、ごはんにはほかにも、血や肉をつくるタンパク質、エネルギー源となる脂質、便秘や肥満を防ぐ食物せんいなど、びっくりするほどいろいろな栄養成分がふくまれています。

■ お茶わん1ばいのごはんの栄養をほかの食べ物と比べる

エネルギー	252kcal	クロワッサン	1~1.5個
炭水化物	55.7g	ジャガイモ	小3個
脂質	0.5g	食パン	約1枚(6枚)
タンパク質	3.8g	牛乳	111ml
カルシウム	3mg		
マグネシウム	7mg		
ビタミンB1	0.03mg	キャベツの葉	大1枚
ビタミンB2	0.01mg		
食物せんい	0.45g	セロリ	30g(1/3本)
鉄分	0.15mg	ホウレンソウの葉	1~2枚

資料：女子栄養大学出版社「五訂食品成分表」

ごはんの栄養ってすごいなあ

■ お茶わん1ばい分のごはんのエネルギーでできること

平泳ぎ 68分 (分速30m)

※体重40kgの人の場合。体重が多い人ほど、続けられる時間は短くなります。



資料：ジュニアのための健康ダイエット① 正しいダイエット入門 文芸春秋

「日本型食生活」は、おいしい

ごはんを中心とした主食には、和・洋・中を問わず、じつにさまざまな料理がぴったりマッチします。主食・主菜・副菜をバランスよく組み合わせると、健康的な「日本型食生活」を実践しましょう。

主菜

主に、魚・肉・卵・乳製品、豆類などタンパク質を多く含む食材

主食

米などの穀類



副菜

野菜を中心にビタミン、ミネラル、食物せんいを豊富に含んだ食材 ※きんぴら・ごまあえ 酢の物・おひたし 煎餅など

汁物

野菜や豆腐をたくさん使って第二の副菜の役割に

朝ごはんをきちんと食べる習慣を

とくに大切なのは、ごはんなどの主食をきちんととることです。

これらのおもな栄養は炭水化物。これにふくまれる糖質は脳のエネルギー源ですが、体内には少ししかためておけないので、朝ごはんを補給しないと、頭がじゅうぶん働きません。

朝ごはんを食べる人と食べない人では、仕事や勉強のやる気もちがって来ようです。

今、20~30代の人で朝ごはん抜きがふえていますが、その習慣は、小・中学生のときから始まった、という人が多いとか。今からしっかりと、朝ごはんを食べる習慣をつけておくことが大切です。



あなたは今朝、朝ごはんを食べてきましたか？ 食べなかった人はなんとなく、ぼーっとしていませんか？

人はねむっている間も心臓や脳を動かしてエネルギーを使っているのだから、朝起きたときはエネルギー不足。車でいえばガソリンがないガス欠状態です。

これでは頭はぼんやり、仕事や勉強に集中できないでしょう。

体と頭をしっかりと目覚めさせるには、まず、食べること。朝ごはんをしっかりエネルギーを補給しましょう。

朝ごはん抜きだと体はなかなか目覚めない



「地産地消」とは、その土地でとれたものをその土地で消費するということです。土地の気候風土に合った農産物を新鮮なうちに食べるのだからおいしいはず。しかも、作る人と食べる人がたがいに顔が見える関係で、消費者が自分の目で安全性を確かめられるのも魅力です。JAが地元の野菜を直接消費者に売る農産物直売所もその一例で、消費者の人気を集めています。



まめ知識

身土不二(しんどふじ)とスローフード

「身土不二」とは、もとは仏教用語のひとつ。人の体とその住んでいる土地の環境とは深い関係があり、健康であるためには、その土地でとれた旬の食べ物を食べなさい、という意味。おどりの韓国ではこの言葉が、スローガンにもなっている。

一方「スローフード」とは、風土に根ざした伝統食や伝統食材などの食文化を守り、次の世代に伝えていくとともに、そのような食材を作る生産者を守り、子どもたちをふくめた消費者に食教育をしていこうという考え方。イタリアをはじめとするヨーロッパでさかんだったが、日本でも1999年ごろから本格的に運動が始まっている。

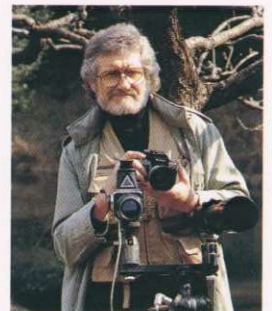
第8回グランプリ作品



第9回

たんぼのフォトコンテスト

- 募集期間** ● 平成15年4月1日～平成16年1月15日（当日消印有効）
- 主催** ● 食料・農業・農村問題県民会議（JA福島中央会農政広報課内に事務局）
- 課題** ● 県内の四季折々の“たんぼ”の風景とします。
- サイズ** ● 4つ切りとします。（ワイド4つ切不可）
- 送り先** ● 〒960-0294 福島市飯坂町平野字三枚長1番地1 ☎024（554）3071
JA福島中央会農業対策部農政広報課あてに郵送または直接持参願います。
- 審査** ● ジョニー・ハイマス（写真家）、家の光写真部、日本農業新聞、食料・農業・農村問題県民会議会員（福島民報社、福島民友新聞社）他
- 発表・表彰** ● 日本農業新聞紙上に、平成16年2月に発表し、グランプリについては、3月に開催予定のJA福島中央会臨時総会時に表彰します。
- 賞** ● グランプリ 1点 賞金 10万円・賞品（全国共通お米券60kg分）
特選 4点 賞金 5万円・賞品（全国共通お米券30kg分）
入賞 10点 賞品（全国共通お米券10kg分）
佳作 35点 賞品（全国共通お米券5kg分）
- 応募上の注意** ● (1)作品は未発表のものに限ります。応募は1人2点までです。
(2)応募写真には、所定の応募用紙に記入の上、線に添って切り取って、写真裏面にセロテープで上部を止めて、ご応募下さい。（糊付けは不可）なお、応募用紙はコピーでもかまいません。
(3)入選作品の著作権はすべて主催者に帰属します。入選者には原版を提出していただきます。
(4)応募された写真は一切返却いたしませんので、ご注意下さい。



ジョニー・ハイマス

日本の原風景・たんぼ。

長い間、
私たちの主食を支えてきた米を
守っていくことをねらいとし、
“たんぼ”の写真を募集します。

----- 切り取り線 -----

第9回たんぼのフォトコンテスト 応募用紙

（平成16年1月15日当日消印有効）

氏名(ふりがな)		年齢	
住所 〒			
TEL		職業	
題名		撮影月日	年 月 日
撮影場所(詳しく)			